

# 防災だより



福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町82 (0776) 36-7631

第 28 号

令和4年 12月 16日

\*学校と御家庭で協力しながら防災の取組をしていくために、年に3回「防災だより」を発行します。

地震想定避難訓練



負傷者搬送訓練



9月6日(火)に地震を想定し、児童生徒、教職員ともに事前予告なしの避難訓練を行いました。突然、緊急地震速報が流れる中、児童生徒は落ち着いて、「シェイクアウト」(上図参照)を通して身を守る訓練をしました。机の下に隠れたり、姿勢を低くして頭を守ったりするなど、自分自身で命を守ろうと行動する場面が多く見られました。次に、緊急放送を聞いて速やかに避難する訓練をしました。緊急地震速報が流れたらどのような行動をとるとよいかを考えながら、避難を促す緊急放送から7分30秒後には、全員がグラウンドに無事避難することができました。避難訓練と同時に、負傷者を想定した担架による教職員の搬送訓練も行いました。高等部棟にて、足を負傷し身動きが取れなくなったという想定で、折りたたみの布担架を使って教職員6名でグラウンドへ搬送しました。担架の使用法や救護所設置の指示の出し方などを再確認できる有意義な訓練となりました。



救命救急講習会を実施しました!



8月18日(木)に、教職員の救命救急法講習会を行いました。前半は、つくしの病院副院長吉田正博医師による講演会、後半は8グループに分かれインストラクターの指導のもと、基本的心肺蘇生とAEDの使用法を学びました。

児童生徒の緊急時に備え、的確な判断・冷静な対応ができるよう、再確認することができました。



## 防災研修「消火器訓練」 & 「災害時の対応」



7月26日（火）に、教職員の防災研修として、消火器を使った放水訓練を行いました。本校の屋内消火器の使い方を確認した後、火の風上に立ち、腰を落として低く構え、火の根元を掃くように左右に振ることを意識しながら的に向かって放水しました。教職員一人一人が、防災への意識を高めることができました。



応急・復旧班→持ち出し用救護セットの点検



引き渡し班→ロータリーでの引き渡し設定



車両誘導班→グラウンドへの誘導方法の確認

同日に災害時の対応についての研修も行いました。本校の自衛消防活動組織の各班に分かれて、実際に災害が起こったことをイメージして、対応の仕方を考えたり、動き方を確認したりしました。

## 災害用伝言ダイヤルを体験して…



学校での活動中に災害が起こった場合、安否確認方法の一つとして「災害用伝言ダイヤル」を保護者の皆様に体験してもらいました。約8割の御家庭が体験し、操作や音声内容について、「分かりやすかった。」と回答がありました。事後アンケートの感想の中には「以前から体験してみたかったので、今回実際に体験できて良かった。」「定期的に行うことで落ち着いて対応できると思う。今後も継続して欲しい。」「引き渡しまでに子供の安否が分かるので安心できる。」などのご意見が多数ありました。

今後も2～3年に一度は「171」を利用した訓練を続け、またお子様の安否や状況が少しでも速く保護者の方に連絡できるよう、いろいろな手段を使った訓練をしていきたいと考えています。



福井南特別支援学校



学校HPの「危機管理」の中に、カラー版の「防災だより」が掲載してありますので、ぜひご覧ください。